

第3回浜松市立北部中学校運営協議会

令和6年2月7日(水)

14:00～ 会議室

校訓 「切磋琢磨 文武両道」

学校教育目標 「自分自身を『かけがえのない存在』であると思える生徒の育成」

目指す学校像 「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」

開会 開催要件（委員の過半数の出席）確認 <司会： 、記録： >

1 会長あいさつ

2 校長あいさつ

3 議長の選出（出席した委員の中から互選）

4 前回会議録確認

5 熟議 <議長： >

（1）学校関係者評価について（来年度の方策について）

・学校の自己評価の説明（「いじめ防止等のための基本方針について」含む、別紙）

・次年度学校運営の基本方針について（校長より）

・来年度の方策について（熟議）

（2）学校運営協議会の自己評価

（3）夢育やらまいかCS加算分の報告

6 報告

7 今後の予定と連絡

3月18日（火）	卒業式
4月26日（金）	第1回運営推進協議会 14:00～（予定）
11月18日（月）	第2回運営推進協議会 14:00～（予定）
2月7日（金）	第3回運営推進協議会 14:00～（予定）



令和5年度 第2回 北部中学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年 11 月 20 日(月) 14 時 00 分から 16 時 00 分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 平間 一彦 遠藤 喜和 小林 宏彰
谷口幸子 高木早由里 佐野孝輔
4. 欠席委員 なし
5. 学校支援コーディネーター 渡邊 薫
6. 学校 佐野 政光(校長) 村松 還(教頭) 橋爪 敦志(教務主任)
平松 光宏(生徒指導主事) 鈴木 千佳(CS ディレクター)
7. 教育委員会 鈴木 陽子(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 鈴木 千佳(CS ディレクター)
10. 議長の選出 平間委員が、本日の議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

11. 協議事項

(1) 生徒の実態とキャリア教育の在り方

- ・生徒の様子について
- ・キャリア教育について
- ・北部中のキャリア教育について

12. 会議記録

- ・司会の教頭より、委員総数 6 人全員の出席があり開催要件が満たされ、会が成立する旨の報告があった。

- ・初めに会長より挨拶があり、続いて校長より挨拶があった。

会長挨拶→先日行われた緑翔祭(合唱コンクール)では感動をもらった。全生徒の頑張り、先生方の御尽力を感じることができた。2月には第3回の運営協議会が予定されているが、このコミュニティスクールの趣旨・意味を理解しながら勉強していきたい。

校長挨拶→緑翔祭、体育大会の2大行事が無事に終わった。子供たちはとてもいい表情をしていた。今のところ全体で予定通りの教育活動をしている。本日は参観会で大勢の保護者が来校している。

- ・熟議に先立ち、委員の方々に2年生の合唱風景をご参観いただいた。

(1) 生徒の実態とキャリア教育の在り方

・生徒の様子について

委員からは以下のような発言があった。

- ・(2年生学年合唱を見て)とても感動した。一人一人が1つの目標に対して一生懸命に取り組んでいる姿はかけがえのないもの。これこそ学校教育であり、生徒のあり方だと思った。(平間委員)
- ・2年生の学年合唱はとても上手だった。先生方の指導レベルも高く、それに応えている子供たちも素晴らしいと思う。体育大会も皆がとても真剣で、一生懸命な姿が見られた。諦めない

子供たちの姿は、とても清々しいと感じた。(遠藤委員)

- ・緑翔祭では、子供たちの合唱から元気で楽しそうな雰囲気を感じられた。(小林委員)
- ・未来授業では、素直で真面目な生徒が多い印象を持った。よく見てよく聞いて、よく頷いていた。普段の授業の姿勢とは違う様子がよく表情に出ていて、とても有意義だった。また子供たちの合唱は、雑念がなく、ストレートに入ってきて魂が震えるようだった。(佐野委員)
- ・自分の子供が中学校を卒業し、久々に合唱を聴いた。全体を見て、男子も女子も年々うまくなっていると感じる。恥ずかしがったりせず精一杯歌っている姿にとても感動した。(高木委員)
- ・子供が卒業して、久々に合唱を聴いた。代表生徒がハキハキと保護者へのメッセージを述べていてとてもよかった。練習もしっかりしていたのだと思う。(谷口委員)
- ・日頃から図書室で子供たちの様子や変化をよく見ていて、日々成長を感じる。合唱練習では子供たち同士が声を掛け合うなどしていた。未来授業では子供たちの表情がどんどん変わり、身乗り出すように話を聞いている姿を見ることができた。体育大会では普段教室に入ることが難しい生徒も輝ける場所があった。これからも行事が楽しみ。(CS コーディネーター)

・キャリア教育について・北部中のキャリア教育について

教頭よりキャリア教育についての資料説明があり、委員からは以下のような発言があった。

- ・キャリア教育というのは最近うまれた言葉だが、昔から、義務教育はキャリア教育であるべきだと考えている。社会は常に変化しているが、その時々でどのようなキャリア教育がよいのかを考えるべき。教員は、予測不能な社会をある程度予測しながら、子供たちにどのような力をつけさせればよいのかを考え、子供たちの未来につながる学びを意識するとよいと思う。こんな力があれば、こんな大人にならねば、と子供たち自身で考えられるようになることよい。(校長)
- ・キャリア教育に関して疑問に思うことがいくつかある。
近年になってキャリア教育の必要性が高まってきた、その背景は何か。
またそのキャリア教育が求める理想像とはどのようなものか。
中学生は感情や性格が大きく変化する時期であるが、キャリア教育が間違えると大変なことになるのではないか。今後世界を相手に競い合っていかなければならない中で、みんな「いい子」で大丈夫なのか。個性を出さねばならないのではないか。
またキャリア教育において、地元や保護者の担うものはどれほどのものなのか、懸念している。(平間委員)
- ・20～30年前は外国の子供が少なかった。今は文化・習慣の違いがある中で、うまく理解し合いながら問題解決をしていかなければならない。そのような力を身につけること、それがキャリア教育ではないか。また予測不能な新しい課題が出てくるなかで、上からの指示で動くのではなく、自分たちで解決していく力を身につけること、これもキャリア教育では。(校長)
- ・以前、ブータンが世界一幸せな国だと紹介されたことがあった。日本人は衝撃を受け、幸せの価値観も広がったが、その頃がキャリア教育の必要性や意義の理解が高まってきた時期かもしれない。誰もが幸せを感じられるという視点を持ち、自分はどうあるべきかを考える。世界と競い合うその先で自分たちの幸せにつながる、というのが理想。(教頭)
- ・多様性や世界とのつながりを問われるようになってから、キャリア教育が謳われ始めたのではと思う。転職が珍しくない時代で、必要になるのは自分の能力。様々な選択肢があるなかで、何を選べば良いかが難しい時代であるゆえに、自分の4つの力(支える力・認める力・選ぶ力・生かす力)を身につけることが大切なのは。(生徒指導主事)
- ・キャリア教育は継続していくことがとても大切であり、子供たちだけでなく保護者や地域の人にも広げて学んでいくべき。(平間委員)
- ・先生方は日頃から本当によく取り組み、発信していると思うが、保護者へ伝わりきれていない

部分があるのではと思う。学年便りは先生方の意見・意向、キャリア教育を知るにあたってより理解が深まるツールだと思うが、うまく機能しきれていないのでは、と感じる。(CS コーディネーター)

- ・良くも悪くも、まじめでおとなしい子供が多い。感じ方が麻痺しているのではないかと感じる。周りに流されないように自分軸をしっかりもっておくと良い。キャリア教育を通して、子供たちが様々な経験から何かを感じ、自分を見つけてくれることを期待する。キャリア教育を周囲に広げていくには、学校が体現していくしかない。(佐野委員)
- ・キャリア教育は個人個人を大切にするという考え方が軸になっていると思う。資料では北部中オリジナルのキャリア教育の指針が示されているが、人と人とのかわりについてポイントが置かれているところが素晴らしい。子供たちがマイナスの感情を抱いた時にも、先生方が子供たちの気持ちを聞き、より添うことで立ち直らせることができているのではと思った。(遠藤委員)
- ・子供たちの緑翔祭の振り返りを読んで、行事を経験することで彼ら自身に主体性が出てきているように感じた。緑翔祭では本番当日まで本校職員が子供たちに「過程が大事である」という価値づけをしてくれており、そこにすごくキャリアが詰まっていたように思う。「やれ」「従う」ではなく、子供たちが主体性をもてるように育ってきてくれているのではと思う。(校長)
- ・小学生中学生の時期というのは自己をつくるのに大事な時期なのではと思う。今は転職が当たり前の時代だが、子供たちが小・中学校の間に「自分は自分」という意識や自己肯定感を高められるよう、周りの大人が関わっていくべき。(谷口委員)
- ・北部中は以前から先生方が「自分の良さを見つけよう」「あこがれる生き方をしよう」と声掛けをしてきていた。皆さんの話を聞いて、それが今はもっと形になっているのではと思う。自己肯定感を高めることが大事。親だけではなく学校・地域もその意識をもつことでいい子がたくさん育つのではないかとと思う。(高木委員)
- ・家庭での教育・あり方が大切。親がしっかり子を育て、子供がもしつぶされそうになっても、家庭で立て直して戻っていくことが大切だと思う。(小林委員)

協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

・報告

学校支援コーディネーターより以下の報告があった。

- ・11/21～22に行われる勤労体験について
- ・図書館ボランティアについて
- ・次年度に向けての教科別補助対応について

・その他の連絡事項

次回の学校運営協議会の開催日時と内容に関する補足説明、今後の学校行事予定の連絡があった。

・次回開催日時

令和6年2月7日(水)14時00分から

令和6年度 教育課程編成に向けて

1 本年度の取り組みを振り返って

(生徒アンケート)あてはまる+ややあてはまる 割合(%)※()内は令和4年度

- ・私は、自分の将来に対し、夢や希望をもっている。 85.3 (76.3)
- ・私の学級、学校は、安心できる場所だと感じている。 88.9 (87.6)
- ・私は、北部中学校での学校生活は充実していると感じている。 92.2 (89.5)

(保護者アンケート)あてはまる+ややあてはまる 割合(%)※()内は令和4年度

- ・学校は、『自分自身を「かけがえのない存在」…育成』を意識した教育活動を推進している
87 (85.5)
- ・お子さんは、将来に夢や希望をもち、その実現に向けて努力している。
69.6 (68.9)
- ・学校は、いじめのない集団作りに努めている。 92.6 (89.1)
- ・学校は、家庭や地域と積極的に連携している。 84.6 (81.5)
- ・お子さんの北部中学校での学校生活は充実している。 87.8 (86.4)

令和5年度も昨年度に引き続き、学校教育目標『自分自身を「かけがえのない存在」であると思える生徒の育成』のもと、教育活動を展開してきましたが、生徒・保護者のアンケートを分析すると、それなりに成果を上げることができたと思います。アンケートからは、生徒一人ひとりが自分の夢や希望を大切にしつつ、安心して学ぶことができていることがわかります。また、保護者については、アフターコロナの中、学校行事や授業参観等を通して子供の学校での様子を知ることができ、子供の成長ぶりを肌で感じていただいた結果であるように感じます。今回のアンケート結果は、とりもなさず本校の教職員のみなさんが、子供や保護者に寄り添い、丁寧に支援を続けていただいたおかげと深く感謝しております。来年度も子供や保護者の心に寄り添い、教職員が一丸となってさらにより良い北部中学校を作り上げていってほしいと思います。

2 重点項目について

【学校行事・部活動】

(生徒アンケート)私は、学校行事に積極的に取り組み、自分を高めることができた。

あてはまる 55.6% ややあてはまる 36.9% 計 92.5%

(保護者アンケート)学校行事は、お子さんの成長をうながすものになっている。

あてはまる 53.1% ややあてはまる 40.6% 計 93.7%

(生徒アンケート)私は、部活動(校外活動)に目標をもって取り組んでいる(いた)。

あてはまる 72.2% ややあてはまる 21.5% 計 93.7%

(保護者アンケート)部活動は、お子さんにとって充実感を感じられるものであり、心身の成長にも役立っている。

あてはまる 45.6% ややあてはまる 37.4% 計 83.0%

学校行事、部活動とも昨年度に引き続き、生徒・保護者とも高い意識をもって取り組んでいます。特に生徒にとって学校行事と部活動は、学校生活の大きな柱となり、自らを高め成長させるために重要な教育活動であることがわかります。(令和4年度より高い自己評価結果となっている)生徒が主体となって取り組む学校行事・部活動は、達成感や自己肯定感を高め、すべての学びへのモチベーション向上につながっていると考えられます。来年度も、生徒が自ら意欲的に取り組める学校行事・部活動を目指していく必要があると思います。また、保護者や地域の方々の意識が高いことを考え、来年度もできるだけ学校を開放し、多くの方に生徒の姿を参観していただく工夫を図る必要があると感じます。

特に部活動については、各部とも思うような結果が出なくても、前向きに真剣に取り組む生徒の姿をたくさん見ることができました。これは、結果を全てとはせず、目標に向かって精一杯取り組むことや、仲間と協力して取り組むことの大切さを、先生方が日頃より大切にしているからだと思います。部活動の地域移行の動きがある中で、部活動の在り方が問われています。しかし、地域移行が進むと言われている令和8年度まではまだ時間があります。教員の働き方改革とのバランスをはかりながら、今後も部活動指導は、生徒の意欲向上を第一に考えていくことが大切なのだと思います。

【授業の充実】

(教員アンケート)学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けるようにするため、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことができたと思いますか。

あてはまる 31% ややあてはまる 68% 計 99%

(生徒アンケート)先生は、わかりやすく授業を進めている。

あてはまる 59.8% ややあてはまる 34.8% 計 94.6%

(生徒アンケート)先生は、授業で、話し合ったり、友達と力を合わせて取り組んだりする機会をしっかりと設けている。

あてはまる 71% ややあてはまる 27% 計 98%

本年度も年間一人一回の授業研究に取り組んでいただきました。お忙しい中でも、大変意欲的に研修に取り組んでいただいたことに感謝申し上げます。先生方のおかげで、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った、内容の濃い研修が実現できたと思います。

本年度は特に、「主体的に学習に取り組む態度」に視点を当て研修を進めてきましたが、この「主体的に学習に取り組む態度」は、まさしくキャリア教育に直結するものであると考えます。生涯にわたって学び続けるためには、この学びに向かう態度の育成が必須です。どうしたら「主体的に学習に取り組む態度」を育成することができるのか(評価のあり方を含む)を、さらに深く追究し、研修を積み重ねる必要があると考えます。

校内研修では、さらに夏季研修において「ICT活用研修」を実施しました。浜松市の教育施策の一つにもなっている「ICTの積極的な活用」は今後も大変重要になってくると考えます。来年度もどこかのタイミングで「ICT活用研修」を実施していく必要があると考えます。まずは、日頃の授業の中で、できるだけICTを使用してみることが大切になるかと思っています。

【愛情あふれる生徒指導】

(生徒アンケート)私の学級、学校は安心できる場所だと感じている。

あてはまる 52.2% ややあてはまる 36.7% 計 88.9%

(生徒アンケート)先生は、学校生活の中で自分によく声をかけてくれている。

あてはまる 36.8% ややあてはまる 46.6% 計 83.4%

(生徒アンケート)私は、学習や生活等について、先生に相談しやすいと感じている。

あてはまる 37.1% ややあてはまる 38.8% 計 75.9%

先生方の温かな御支援のおかげで、生徒の多くは学校を信頼し、安心感を抱いています。生徒はもちろん、保護者にも寄り添った支援が行われている成果だと考えています。来年度も、生徒や保護者の心に寄り添った丁寧な支援を心がけていきたいと思ひます。報道相を確実にし、生徒の情報をいち早く共有すること。そして一人ではなく組織で対応することが重要です。特にいじめの問題については、全職員で迅速かつ丁寧な対応をしていきたいと思ひます。(いじめ対応研修については来年度もどこかのタイミングで実施したいと考えています。)生徒や保護者にとって、この北部中が「安心して精一杯学べる学校」でなくてはならないし、またそうなるよう私たち教職員が日頃から努力していくことが何より大事だと思ひます。

【キャリア教育の深化充実】

授業や学校行事、部活動において、キャリア教育を意識して指導・支援にあたっているのおかげで、多くの生徒が北部中での学校生活が充実していると感じてくれています。キャリアパスポートの活用も大事ですが、今なぜこの活動が大切なのかの先生方の語りかけは、キャリア教育ではとても大切であると考えています。今後も、北部中教員ならではの「情熱あふれる語りかけ」をよろしくお願いします。

さて、本年度はコミュニティ・スクールの導入年でもありました。本年度はまず生徒の様子を多く見ていただき、生徒の実態を把握いただきました。昨年度もお伝えしたように、このコミュニティ・スクールは「キャリア教育推進における重要なツール」であると考えています。いよいよ来年度は2年目となります。北部中の生徒にとって、どんな活動や支援がキャリア教育の深化充実につながるのかを熟議していきたいと考えています。先生方もよりコミュニティ・スクールへの意識を高め、既存の教育活動(授業を含む)にどんな工夫をしたらいいのかをお考えいただき、建設的な御意見を発信してください。よろしくお願いします。

先生方の意見を参考にしながら、グランドデザインを作っていきます。

校訓	「切磋琢磨 文武両道」
学校教育目標	「自分自身を『かけがえのない存在』であると思える生徒の育成」
目指す学校像	「あいさつができ、元気にあふれ、規律のある学校」

については、特に意見がなければそのまま継続と考えています。

令和5年度 学校運営協議会 座席表

ホワイトボード

		平間 一彦 会長		
	遠藤 喜和 委員			小林 宏彰 委員
	谷口 幸子 委員			高木 早由里 委員
	佐野 孝輔 委員			渡邊 薫 学校支援コーディネーター
	校長 佐野 政光	教頭 村松 還	教務主任 橋爪 敦志	生徒指導主事 平松 光宏
			CSディレクター 鈴木 千佳	CS担当教職員 茂 一美

出入口

学校運営協議会 年間計画

令和5年4月1日～令和6年3月31日

※ 委員の過半数の出席がないと開催できません。

※ 感染症の感染拡大防止等、状況により、開催が中止、あるいは延期になる場合があります。

回	日時 会場	主な内容 熟議のテーマ 等	備考
1	令和5年 5月11日 木曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校運営の基本方針について 説明 ⇒ 質疑・応答、熟議 ⇒ 承認 (2)いじめ防止等のための基本方針について (3)夢育やらまいかCS加算分についての意見書について	
2	令和5年 11月20日 月曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)生徒の実態とキャリア教育の在り方	
3	令和6年 2月7日 水曜日 14:00～16:00 会議室	熟議テーマ (1)学校関係者評価について 学校の自己評価(結果、分析・考察、改善方策等)の 説明 ⇒ 改善方策について熟議(この結果を学校関係者評価として提出)⇒協議会終了後、見直し⇒公表⇒次年度へ反映 (2)次年度学校運営の基本方針について 説明 (3)学校運営協議会の自己評価 ☐ 夢育やらまいかCS加算分の報告	

第3回 学校運営協議会出席者

学校運営協議会委員

会長	ひらま 平間	かずひこ 一彦
副会長	さの 佐野	こうすけ 孝輔
委員	えんどう 遠藤	よしかず 喜和
委員	こばやし 小林	ひろあき 宏彰
委員	たにぐち 谷口	さちこ 幸子
委員	たかぎ 高木	さゆり 早由里

学校支援コーディネーター	わたなべ 渡邊	かおる 薫
--------------	------------	----------

学校

校長	さの 佐野	まさみつ 政光
教頭	むらまつ 村松	めぐる 還
教務主任	はしづめ 橋爪	あつし 敦志
C S 担当教職員	しげ 茂	かずみ 一美
C S ディレクター	すずき 鈴木	ちか 千佳

浜松市教育委員会

教育総務課	すずき 鈴木	ようこ 陽子
-------	-----------	-----------